

ZEN大学 障がい学生支援ガイドライン

1. 基本姿勢

すべての学生が、学習環境や心身の状態、地理的な制約などに関わらず、平等に修学機会を享受できるよう、可能な限りの支援を目指します。特に完全オンラインという学修形態の特性を理解し、学生が抱える孤立感や通信環境の課題などにも配慮した支援を提供します。本学の支援は、学生が自らの特性を理解し、主体的に学習環境を整える「自律した学習者」としての成長を促すことを目的とします。

基本原則

- 差別の解消：学生の多様性を尊重し、国籍、性別、障がい、年齢、経済状況などによる差別が起きないように、適切な環境づくりと配慮を行います。
- 建設的対話：支援の必要性を認める学生に対しては、学生本人と丁寧に対話し、個々の状況に応じた合理的配慮や代替措置の選択肢も含めて共にデザインします。
- 教職員・学生の連携：効果的な学生支援のためには、すべての教職員が積極的に取り組み、さらに学生同士の協働や相互理解も不可欠である。支援は、大学と学生の信頼関係に基づき、共に創り上げる（共創する）ものであるという認識のもと、支援体制を構築します。

2. 支援対象者と範囲

- 支援対象者：原則として、本学に在籍するすべての学生と、入学を希望する者を対象とします。
- 支援の範囲：修学上または学生生活全般において困難や支障がある、または支援の必要性が認められる学生に対し、合理的な範囲内で支援を提供します。
 - 学修面：履修、課題、試験、学修方法に関する相談・支援
 - 生活面：健康、心理、ハラスメント、経済的な相談・支援
 - 環境面：情報アクセシビリティ、通信環境に関する配慮や情報提供

3. 支援内容

(1) 入学前の相談・支援

入学後の修学に困難が予想される場合は、出願前に相談窓口にて相談を受け付けます。適切な環境整備には準備期間を要するため、原則として出願前または学期開始前の早期申請を推奨し、遅延による不利益が生じないように努めます。

- 対話を通じた確認：入学後の修学に可能な配慮内容や、本学のオンライン環境で提供できる支援について、学生本人と確認を行います。
- 情報提供：入試形態、オンライン学修の進め方、必要な機材・通信環境、学費支援制度などの情報提供を充実させます。

(2) 学修支援（アカデミック・サポート）

オンライン授業のアクセシビリティ

- オンデマンド教材：動画への字幕挿入や文字情報の充実、資料の早期提供（PDF、音声読み上げ対応データ等）は、学生自身によるアクセシビリティ機能の活用を促進するため、運用リソース等を勘案し、可能な範囲で実施できるよう努めます。一

律の対応が困難な場合は、個別の学生からの申請に基づき、代替となる支援策を検討し提供します。

- ライブ授業：チャット機能、投票機能などを活用し、発言機会の確保や多様な参加方法を設けるよう努めます。音声の遅延などに配慮し、ゆっくり・はっきり話すことを推奨します。
- 受講環境への配慮：課題提出等のスケジュールを予め告知し、十分な余裕を持たせた学修計画が立てられるようにします。ライブ授業はアーカイブを残すなど、学生の受講タイミングの選択の多様化に努めます。
- 学修相談：クラス・コーチ（CC）を中心として、GoogleMeetを活用した個別支援やグループ指導、科目の質問窓口としてアカデミック・アドバイザー（AA）を整備し、円滑な質疑応答の機会を確保します。
- 適切な学修評価：単位認定試験だけでなく、確認テスト、確認レポート、成果物など多様な形式を組み合わせ、学修成果を多角的に評価するよう努めます。

(3) 学生生活支援（メンタル・ヘルスケア含む）

- 学生相談窓口：オンラインカウンセリングが可能な学生相談窓口（心理、健康、ハラスメント等）を設置し、匿名性・秘匿性を確保した上で、メンタルヘルスや学業不安に関する相談に対応します。
- 学生交流の機会：学生同士の交流や、大学生活への帰属意識を醸成するためのオンラインイベント、交流会、大学主催の課外活動等への支援を行います。
- 就職・キャリア支援：キャリア・アドバイザー（CA）と連携し、オンラインでのキャリアカウンセリング、キャリアガイダンス、インターンシップ情報の提供などを行います。

(4) 障がい学生支援と合理的配慮

障がいや疾病により修学に困難がある学生に対し、個別の申請に基づき合理的配慮を提供します。合意された配慮内容は、学生が主体的に活用し、状況に応じて大学へ報告・再相談を行うものとしします。

- 配慮の検討：申請内容に基づき、学内の関係部署が協議し、可能な支援を検討します。
- 配慮の事例（オンライン学修・単位認定試験等における主な例）：
 - 試験時間の延長
 - 学修支援の個別サポート（CCやAAの個別支援）
 - 面談におけるステップ調整（カメラON/OFFの選択等）
 - 学修支援機器や補助具の利用許可
 - 講義資料の電子データ提供（対応可能な科目に限る）
 - 授業・試験時の介助者の同席許可（同席者の事前確認）
 - 重要事項に関する個別案内

4. 支援体制と連携

本学の標準的な学修支援として、学生ポータルサイトや各種フォーム等、場所を問わず利用可能な窓口を確立しています。まずはこれらの共通プラットフォームをご活用ください。

- 学生支援窓口の設置：学生の支援に関する各窓口（クラス・コーチ(CC)、合理的配慮申請窓口など）を明確化し、教職員・学生への周知を徹底します。
- 教職員への啓発：すべての教職員が学生支援、特に障がい学生への合理的配慮やオンライン教育の特性を正しく理解し、積極的に支援に取り組むよう、研修会などを定期的に実施します。
- 情報公開：支援に関するガイドライン、申請方法、問い合わせ先などをウェブサイト等で公開し、透明性を確保します。

制定・改定履歴

2025年12月 制定

2026年3月 改定